

疫学研究・臨床研究に関する情報の公開について

研究課題名

小脳橋角部類上皮腫手術の後方視的検討

研究計画

(1)背景・意義

小脳橋角部類上皮腫は胎生期に上皮細胞の迷入によって発生しうる極めて稀な良性腫瘍です。稀なため小脳橋角部類上皮腫に対する手術の報告は少なく、術後長期成績は十分には検討できていないのが現状です。この小脳橋角部類上皮腫に対する当科での手術件数は本邦で突出した症例数であり、小脳橋角部類上皮腫の臨床像、治療法や手術成績を解析・発信することで、当科での経験を新たな知見へ結びつけて、医療分野や社会へ還元して参ります。

(2)目的

小脳橋角部類上皮腫の手術を受けられた患者様の臨床データを収集・解析します。特に手術における手術アプローチの使い分け・術後神経機能の温存・皮膜切除・術後再発や再手術の頻度を後方視的に検証し、手術アプローチの選択方法の確立が目的です。すなわち、将来、小脳橋角部類上皮腫に対して手術を受けられる患者様へより一層の神経機能温存率、摘出率の向上、安全な手術の提供などに寄与することを目的としています。

(3)方法

●対象となる方:

当科で小脳橋角部類上皮腫の手術を受けられた方受けた方を対象とします。

●研究期間：倫理委員会承認後より研究開始となり、最長8年間で頭蓋底腫瘍に対して摘出術を受けられた患者さんのデータ解析を行います。

●利用する検体やカルテ情報：通常診療で必要であった、術前後の生理学的検査、画像検査の解析を行います。新たな検査などは必要ありません。

●検体や情報の管理：患者さんのデータは匿名化した上で、研究を分担するスタッフのみがアクセス可能と致します。またデータ保管は院内規則に則り作業場所、データ保管場所などの管理は厳重に致します。研究成果の公表に際しては、個人が特定されないことがないように配慮するなど、当院の規定に基づき個人情報保護の徹底に努めます。

個人情報の取り扱い

本研究の目的を達成するために必要な範囲を超えて診療録からの個人情報を取り扱いません。また、得られた情報は個人が特定されないように匿名化した上で、細心の注意を払い安全に管理します。なお、本研究により得られる研究結果は個人が特定されることはない形でまとめます。

連絡先

東京医科大学病院

脳神経外科

電話番号 03-3342-6111 (代表) (内線) 3221

担当医師：河野道宏 中島伸幸 一樹倫生 松島健 坂本広喜